

1. 化学品及び会社情報

製品名	: タキボンド #625
会社	: タキロンシーアイ株式会社
住所	: 〒671-2421 兵庫県姫路市安富町長野 405
担当部門	: 安富工場 技術グループ
電話(緊急連絡先)	: 0790-66-2285
ファックス	: 0790-66-2378
作成日	: 2001年4月1日
改訂日	: 2020年8月3日

2. 危険有害性の要約

特有の危険有害性 : 蒸気は空気より重く、低所に滞留し爆発性混合ガスを作りやすい。
蒸気が遠くへ流出して着火するおそれがある。

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分2

健康有害性

急性毒性(吸入) : 区分2

眼に対する重篤な損傷性 : 区分2B

／眼刺激性

皮膚感作性 : 区分1

特定標的臓器毒性 : 区分3

(単回ばく露)

環境有害性 : 区分に該当しない

※上記で記載が無い危険有害性は区分に該当しない、又は分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 引火性の高い液体および蒸気。
吸入すると生命に危険。
眼刺激。
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
眠気又はめまいのおそれ。
呼吸器への刺激のおそれ。

注意書き : 熱、火花、裸火、高温物付近での施工はしないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
蒸気を吸入しないこと。
作業の際、適切な保護具(保護手袋,呼吸用保護具,ゴーグル等)を着用すること。

本来の用途以外には使用しないこと。
取扱後は手をよく洗うこと。
皮膚や眼に付着した場合、多量の水でよく洗い、もし体に異常を感じた場合は、速やかに医師の診断を受けること。
子供の手の届かない所に保管すること。
環境中に廃棄しないこと。
内容物や容器を廃棄する時は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物	混合物			
GHS 分類に寄与する成分(不純物含む)	酢酸エチル・酢酸ブチル			
組 成	化学名又は一般名	濃度範囲 (wt%)	CAS RN	官報公示整理番号(化審法)
	ウレタン樹脂	30~40	—	既 存
	酢酸エチル	50~60	登 録	既 存
	酢酸ブチル	1~10	登 録	既 存

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 気分が悪くなった時は、被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。衣類をゆるめ、保温、安静を保ち、速やかに医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。製品に触れた部分を水又は微温湯で流しながら石鹼を使って洗浄する。炎症や痛みなどの症状がでた場合は、医師の手当てを受ける
- 眼に入った場合 : 清浄な水でゆるやかに最低15分間眼を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受ける。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。コンタクト着用の場合、容易に外せる場合は、外して、まぶたの裏まで完全に洗浄する。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐き出させず、ただちに医療機関へ搬送して処置を受ける。水で口の中をよく洗わせてもよい。被災者に意識の無い場合は、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 炭酸ガス・泡・粉末・乾燥砂
- 使ってはならない消火剤 : 棒状注水
- 火災時の特有の危険有害性 : 蒸気は空気より重く、低所に滞留し爆発性混合ガスを作りやすい。

- 特有の消火方法 : 蒸気が遠くへ流出して着火するおそれがある。
可能であるならば、可燃性のものを周囲から速やかに取り除く。
消火後も大量の水を用いて容器を冷却する。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 適切な保護具(耐熱着衣、呼吸用保護具等)を使用し、可能な場合は風上から消火する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業の際には、適切な保護具(保護手袋、呼吸用保護具、ゴーグル等)を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 本製品を環境中(水域、土壌)に流出させてはならない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 回収、中和:
ウエス等で拭き取り、蓋付き容器に回収する。
こぼれた液を回収した容器に、本製品の十倍以上の中和剤を入れ、換気の良い場所で中和する。
中和剤の例:
水/炭酸ナトリウム(又は重曹:入手可能な場合)/液体洗剤
=90~95/5~10/0.2~0.5wt%
- 二次災害の防止策 : 多量に漏出した場合は、盛土で囲って流出を防止し、漏出付近にロープを張って関係者以外の立入りを禁止する。また、火気厳禁の処置をとる。
中和剤の添加、又は空気中の湿気により徐々に、発泡・固化する為、回収した蓋付き容器上部の空間を十分に確保する。この際、発泡により容器が膨らみ、ひどい場合は破裂する危険が有る為、蓋は被せるだけにして密閉はしない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 8 項「ばく露防止及び保護措置」記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
静電気対策のために、装置、機器等の接地を確実に行う。
電気機器類は防爆型(安全構造)のものを用いる。
工具は火花防止型のものを用いる。
- 安全取扱注意事項 : 全ての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。
屋外又は換気の良い場所で取扱う。
換気の悪い場所では局所排気装置を使用する。
換気の悪い場所での作業では、製品に含まれる成分の相対ガス密度が空気より重いことから、周辺も火気厳禁とする。
容器はその都度密閉する。
皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。
- 接触回避 : 10 項「安定性及び反応性」記載の混触危険物質と混合接触してはならない。

衛生対策	:	取扱い後は、よく手を洗うこと。 汚染された作業衣は脱ぐこと。また、作業場から出さないこと。
その他	:	皮膚感作性を有する原料が含まれている為、感作性を有する人の取扱いは避けること。 夏場、開封時の中身噴出しに注意する。
保管		
安全な保管条件	:	火気、熱源から遠ざけて保管する。 湿気を避けて直射日光が当たらない通風の良い涼しい屋内貯蔵所に保管する。 子供の手の届かない所に保管する。 10 項「安定性及び反応性」記載の混触危険物質と一緒に保管してはならない。
安全な容器包装材料	:	移し変えてはならない。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

酢酸エチル	:	200ppm	(日本産業衛生学会勧告値 2016) (原料メーカーSDS:2017/3/15 による)
酢酸ブチル	:	100ppm	(日本産業衛生学会勧告値 2014) (安全衛生情報データ:2015/3/31 による)

設備対策	:	火気厳禁の措置をとる。換気の悪い場所においては、排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。
------	---	---

保護具

呼吸用保護具	:	必要に応じ有機ガス用防毒マスクを着用する。
手の保護具	:	必要に応じ有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の保護手袋を着用する。
眼、顔面の保護具	:	必要に応じゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	:	体に付着しないように長袖の作業着等を着用する。 必要に応じ有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の保護具(エプロン等)を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理状態	:	液体
色	:	淡黄色透明
臭い	:	エステル臭
沸点	:	酢酸エチル:77.1°C
可燃性	:	溶剤の蒸気と空気が混合して爆発性混合物を形成しやすい

爆発下限界及び爆発上限界	: 酢酸エチル・酢酸ブチル:1.2~11.5 vol%
引火点	: -2°C (タグ密閉式)
自然発火点	: 酢酸ブチル:425°C
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: 10mm ² /s/25°C (キャノンフェンスケ法)
溶解度	: 酢酸エチル:8.1wt% 水 (20°C) 酢酸ブチル:0.7g/100mL 水 (20°C)
n-オクタノール/水分配係数	: 酢酸エチル:log pow=0.73 酢酸ブチル:log pow=1.82
蒸気圧	: 酢酸エチル:10kPa (20°C) 酢酸ブチル:1.2kPa (20°C)
密度	: 0.97g/cm ³ / 25°C (浮き秤)
相対ガス密度 (空気=1)	: 酢酸エチル:3.0 酢酸ブチル:4.0
粒子特性	: 液体で対象外

10. 安定性及び反応性

反応性	: 空気中の湿気と反応し硬化するが、通常の使用では危険な反応はない。
化学的安定性	: 通常の手扱いは安定。
危険有害反応可能性	: 混触危険物質と反応し炭酸ガスを発生する。 密閉容器内で起こると、容器が膨れ、場合によっては破裂することもある。 混触危険物質と反応、又は加熱すると火災や爆発に至ることがある。
避けるべき条件	: 熱、火花、裸火、高温、静電放電、混触禁止物質との接触および衝撃により、引火し火災の危険性をもたらす。 換気の悪い場所での作業では、使用している成分の相対ガス密度が空気より重いことから、周辺も火気厳禁とする。
混触危険物質	: アミン、アルコール、水等の活性水素化合物、酸化剤、塩基等
危険有害な分解生成物	: シアンガス

11. 有害性情報 : 混合物のデータが無い為、有害成分の情報を記載。

急性毒性	: ウレタン系樹脂:LD ₅₀ (経口) 1900mg/kg LC ₅₀ (吸入) 0.19mg/L 酢酸エチル:LD ₅₀ (経口) ラット 4934mg/kg LC ₅₀ (吸入) ラット 13mg/L 酢酸ブチル:LD ₅₀ (経口) ラット 3200mg/kg LC ₅₀ (吸入) ラット 0.74mg/L
------	---

皮膚腐食性／刺激性	: 酢酸エチル:ウサギを用いた皮膚刺激性試験で刺激性は見られなかった。 酢酸ブチル:ウサギを用いた試験およびヒトに4%溶液を適用した試験ではいずれも刺激性なしと記述されている。
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性	: 酢酸エチル:ウサギを用いた眼刺激性試験で角膜混濁と虹彩炎は2日までに、結膜発赤・浮腫等は7日までに消失した。 酢酸ブチル:ウサギ眼に試験物質原液 0.1mL を適用した試験において、軽度から中度の虹彩炎が見られたが、48時間後には回復していることから区分2Bとした。
呼吸器感受性又は 皮膚感受性	: ウレタン系樹脂:アレルギー性皮膚反応を起こすおそれあり。 酢酸エチル:ヒトに適用した皮膚感受性試験で皮膚感受性は見られなかった。 酢酸ブチル:ヒトに対して皮膚感受性は見られなかったとの報告あり。
生殖細胞変異原性	: 酢酸エチル:ハムスターに経口又は腹腔内投与し骨髄細胞を観察した in vivo 小核試験で陰性だった。 酢酸ブチル:in vitro では細菌の復帰突然変異試験、哺乳類培養細胞で陰性。
発がん性	: 酢酸エチル:マウスに8週間腹腔内投与した試験で各群に肺腫瘍が見られたが、投与による増加では無かった。
生殖毒性	: 酢酸エチル:ラットに90日間吸入ばく露させた試験で、雌雄の生殖器、精子の数や運動性、形態等に影響は無かった。 酢酸ブチル:発生毒性、雌動物の生殖能に関して影響は見られていない。しかし雄動物の生殖能に関する情報が不十分であることから分類できないとした。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 酢酸エチル:ネコやマウスでの吸入ばく露試験、又はウサギでの経口投与試験で一過性の麻酔作用が見られた。短期ばく露により、眼、気道を刺激する。 中枢神経系に影響を与えることがある。 酢酸ブチル:ヒトにおいて、蒸気吸入ばく露により、頭痛、悪心、高濃度でめまい、呼吸困難、意識喪失、衰弱が報告されている。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 酢酸エチル:ラットに90日間経口投与した試験で 3600mg/kg/日で体重および臓器重量の増加抑制等が見られた。 酢酸ブチル:ラットに13週間ばく露した試験において、区分外の高濃度(1500ppm 以上/6hr)で呼吸器への影響(鼻腔刺激症状、嗅上皮の壊死)が見られたのみであった。
誤えん有害性	: データなし

12. 環境影響情報 : 混合物のデータが無い為、有害成分の情報を記載。

生態毒性	: 酢酸エチル:LC ₅₀ (96hr) 魚類(ファットヘッド・ミノー)230mg/L(SIDS, 2008) LC ₅₀ (24hr) 甲殻類(オオミジンコ)2,500mg/L(SIDS, 2008)
------	--

	酢酸ブチル:LC ₅₀ (96hr) 魚類(ファットヘッドミノ)18mg/L
残留性・分解性	: 酢酸エチル: 化審法に基づく2週間の生分解性試験で良分解性と判断された。 酢酸ブチル: 急速分解性がある (BOD による分解度=98%)
生体蓄積性	: 酢酸エチル: 生体濃縮係数 (BCF): 3.2 (計算値) 酢酸ブチル: 生物蓄積性が低いと推定される。
土壤中の移動性	: 酢酸エチル: 土壌吸着係数: K _{oc} =5.6 (計算値)
オゾン層への有害性	: モントリオール議定書に記載されている物質の使用はない。

13. 廃棄上の注意

廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さない。

洗浄処理した排水、焼却等により発生した廃棄物も、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律に従って処理を行うか、専門業者に処理を委託する。

樹脂の燃焼により、シアンガス等の有害ガスが発生する危険があるので、必要に応じて呼吸用保護具を着用する。

廃棄物の種類 : 内容物(液体) 燃えやすい廃油 (特別管理産業廃棄物)
内容物(硬化した物) 廃プラスチック類 (安定型産業廃棄物)

14. 輸送上の注意

国連番号	: 1992
品名(国連輸送名)	: その他の引火性液体(毒性のもの) 6.1 (ウレタンプライマー)
国連分類	: クラス3/6.1 (引火性液体類/毒物)
容器等級	: 容器等級 II
海洋汚染物質	: 非該当
陸上輸送	: 消防法、毒劇法、道路法などに定められた運送方法に従う。 容器の漏れ、破損の無い事を確認し、転倒、落下等が無いように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。
指針番号	: 131(引火性液体-毒性)
海上輸送	: 船舶安全法・航空法に定めるところに従う。
航空輸送	: ①ASTM D4359-90 の固液判定で液体。 ②引火点が 23°C未満(-2°C)で初留点が 35°Cを超えることから 容器等級 II に該当。

15. 適用法令

消防法	: 危険物第4類第1石油類(非水溶性液体)、危険等級 II
危険物船舶輸送及び貯蔵規則	: 引火性液体類(1992) 容器等級 II

労安法	:	危険物:引火性のもの 有機溶剤中毒予防規則:第2種有機溶剤(酢酸エチル・酢酸ノルマルブチル) 表示・通知義務対象物質(酢酸エチル・酢酸ブチル)
PRTR法	:	非該当
毒物及び劇物取締法	:	非該当
大気汚染防止法	:	非該当
水質汚濁防止法	:	非該当
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	:	該当(13項参照)

16. その他の情報

出典	:	原料メーカーの(M)SDS NITEのGHS分類結果データベース
厚生労働省の室内濃度指針値 該当物質の使用状況	:	TVOCを除くDOP(フタル酸ジ-2-エチルヘキシル)・ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・エチルベンゼン・スチレン・クロルピリホス・DBP・テトラデカン・ダイアジノン・アセトアルデヒド・フェノールカルブの使用は無い。
指針番号	:	131
その他	:	石綿の使用は無い。

【注意】

- ・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。また新しい知見により改訂されることがあります。
- ・注意事項は通常の実施を前提としたものです。特別な取扱いをする場合には、用途に適した安全対策を講じた上で実施願います。また本製品を本来の用途以外に使用しないで下さい。